

7.5「再建」テッキ上げ策動を再び粉碎!

一度は悲劇、二度目は喜劇……

日刊 動労千葉

80.7.7
No.475

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)公衆(電)22(七)二〇七

七月五日「本部」反動分子による二度にわたる「再建津田沼支部」テッキ上げ策動は、津田沼・佐倉での四〇〇名の怒りの総決起の前に大きく崩れ去り完全に粉碎された。当日は七護の「本部」反動分子が策動した六・二八、七・五の二度にわたる策動は「一度は悲劇、二度目は喜劇」に終わった。

堂々と講習室において総決起集会

津田沼支部

前夜からの電城体制で決起した津田沼支部をはじめ電車関係支部からの動員者を含め二〇〇名が電車区講習室をうめ尽し、かけつけた反対同盟、支援仲間と共に、七五「再建」テッキ上げ策動粉碎、5510ダイヤ改悪阻止総決起集会は開始された。鳥田ら反動裏切り分子がテッキ上げに使用する予定にしていた講習室は、ゆ水動労千葉の手によって、まさに「再建」策動を二度にわたって粉碎した勝利の確認にふさわしい集会として圧倒的な成功を収めた。集会後、青年部を先頭に構内テモを行い、折から津田沼駅頭→三信ビル糾弾テモを貫徹した支援共闘の隊列との連帯の意志を確認し、更に更に大きく長期に粘り強く闘いぬくことを誓気高く確認した。



「再建」テッキ上げ策動の現場
津田沼電車区入口(熱い交流と支援のかけつけ)

燃え上がる熱気、枝肉区をつつみこむ
佐倉支部
土屋粹ら
極少の裏切り分子への糾弾、「再建」策動粉碎のため

に、佐倉支部をはじめ枝肉区支部からの動員者二〇〇名の結集をもって闘いとられた総決起集会は、まさに七八年「三・一」

ト」を再現するかのような熱気をはらんで圧倒的にかちこられた。



「再建」テッキ上げ策動の現場
枝肉区(佐倉支部)を先頭に断固闘う(佐倉支部)

全体集会に先立ち庁舎玄関前でもたれ青年部独自集まりと遊舎支部青年部を先頭とした力強い構内テモは出勤する乗務員はじめ構内をゆく仲間たち熱い感動をよび起した。北原事務局長もかけつけ講習室を埋め尽くして崩れた総決起集会は枝肉車関係支部の闘い団結を示し、特に5510合理化を許さずわが現場を守りぬこう、そのためには私利私欲で支部を割って取らぬ闘いに分子を絶対許さぬ闘いを激化することを全体で確認した。うちひがれた反動分子に、更に追撃を!

全組合員のみなさん。いまや「津田沼特別班」なるものは革マルスパイ分子鳥田誠を先頭にボロボロとなっており。当局に処令哀願を行い、権力に労働者を売り渡す——これが「本部」の史態であり「再建」策動の史実である。わが総決起の前に次々と崩れ去る反動分子に対し、更に追撃の手を緩めずことなかつき進もう! 動労千葉の正義の路線と団結の前に勝利は鮮明である。向いけまさにこれからである。全組合員の総決起総行動を通して、この悪らつな「再建」テッキ上げ策動を徹底的に粉碎してゆこう。